

教科名	公民	単位数	2単位	学科・学年	普通科 3年 ソフィア
教科書名	最新政治・経済 改訂版			出版社名	実教出版
副教材等	なし			出版社名	なし
科目目標	1. 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化する。 2. 現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる。 3. 現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養う。				
到達目標 (検定目標)	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
成績評価	定期考査、小テスト、課題、提出物、授業態度などをもとに、評価の観点により総合的に評価する。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原則 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界のおもな政治制度	国内政治や国際政治の基本的事項や課題に対する関心を高め、民主政治の本質を探究する姿勢を身につける。 ・人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について理解する。	●	●		●
5	第2章 日本国憲法と基本的人権 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本原則 3. 自由に生きる権利(1) 4. 自由に生きる権利(2) 5. 平等に生きる権利 6. 社会権と参政権・請求権 7. 新しい人権 8. 人権の広がり と 公共の福祉	・日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原則を把握する。 ・日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。	●	●	●	●

6	<p>第3章 日本の政治制度と政治参加</p> <p>1. 政治機構と国会</p> <p>2. 内閣と行政機能の拡大</p> <p>3. 公正な裁判の保障</p> <p>4. 地方自治と住民福祉</p> <p>5. 政党政治</p> <p>6. 選挙制度</p> <p>7. 世論と政治参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国会、内閣、裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察する。 日本の政党政治や選挙制度の特質を把握するとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察する。 	●	●	●	●	●
7	<p>第4章 現代の国際政治</p> <p>1. 国際社会と国際法</p> <p>2. 国際社会の変化</p> <p>3. 国際連合と国際協力</p> <p>4. 第二次世界大戦後の国際政治</p> <p>5. 冷戦終結後の国際政治</p> <p>6. 軍拡競争から軍縮へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会や国際法に関する基本的な理解を深め、国連をはじめ国際機関の役割について考える。 戦後の国際政治の動向を概観し、現代の地域紛争や軍縮問題、難民問題などを理解する。 	●	●	●	●	●
9	<p>第5章 日本の平和主義と国際平和</p> <p>1. 平和主義と自衛隊</p> <p>2. 日米安全保障体制の変化</p> <p>3. 21世紀の平和主義</p> <p>4. 日本の外交と国際社会での役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法における平和主義の意義と冷戦終結後の日本の安全政策のあり方を考える。 国際平和や人類の福祉に寄与する日本の役割について考察する。 	●	●	●	●	●
10	<p>第2編 現代の経済</p> <p>第1章 現代の経済社会</p> <p>1. 経済社会の変容</p> <p>2. 経済主体と市場の働き</p> <p>3. 企業の役割</p> <p>4. 国民所得</p> <p>5. 経済成長と国民の福祉</p> <p>6. 金融の役割</p> <p>7. 日本銀行の役割</p> <p>8. 財政の役割と租税</p> <p>9. 日本の財政の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な経済の仕組みを理解するとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察する。 資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解させ、その変容を概観する。 市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的な事柄に対する理解を深化する。 バブル崩壊と金融、財政の課題などを理解し、租税の意義も考える。 	●	●	●	●	●
11	<p>第2章 現代の日本経済と福祉の向上</p> <p>1. 戦後復興から高度経済成長へ</p> <p>2. 安定成長からバブル経済へ</p> <p>3. 日本経済の課題</p> <p>4. 中小企業と農業</p> <p>5. 消費者問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> バブルとその崩壊後の不況、という現状に至る日本経済の流れを追い、経済成長や景気変動、金融・財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に把握する。 公害や労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について考察する。 	●	●	●	●	●
12	<p>6. 公害防止と環境保全</p> <p>7. 労働問題と労働者の権利</p> <p>8. こんにちの労働問題</p> <p>9. 社会保障の役割</p>		●	●	●	●	●
1	<p>第3章 現代の国際経済</p> <p>1. 貿易と国際収支</p> <p>2. 外国為替市場のしくみ</p> <p>3. 第二次世界大戦後の国際経済</p> <p>4. 国際経済の動向(1)</p> <p>5. 国際経済の動向(2)</p> <p>6. 発展途上国の諸問題</p> <p>7. 経済協力と日本の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を理解する。 戦後の国際経済の流れを踏まえ、地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済を取り巻く課題を理解する。 	●	●	●	●	●

【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】

- ・教科書、ノートを忘れないようにしましょう。
- ・授業、家庭学習に真剣に取り組み、日々努力しましょう。

